

平成26年度幼稚園経営の基本構想

京都市立中京もえぎ幼稚園

学校教育の重点

伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を
切り拓く子どもの育成

重点項目 ～つけたい力を明確にした「言語活動」～
～自律心と責任感の育成を目指した「協働活動」～

目指す教職員像

- ・子どものよさや可能性を引き出し伸長させる教職員
(一人一人への丁寧なかかわり)
- ・子どもや親の課題や願いに正面から向かい合う教職員
(一生懸命・共感・温かい信頼関係)
- ・明るく元気な教職員

園務分掌

施設等整備計画

安全管理・危機管理

幼稚園教育の柱

確かな学びにつなげるために

- ・発達や学びの連続性に重点を置き、子どもの主体的な遊びを通して、興味・関心・意欲を引き出し、好奇心・探究心・思考力・コミュニケーション力・表現力等小学校以降の学びの基礎力を育む。

豊かな心を培うために

- ・教師との温かい信頼関係を基盤に、友達や身近な人々とのかかわりを通して、自分の気持ちを調整し、人といふる楽しさや心地よさを味わい、共に育ちあう人間関係づくりを進める。
- ・身近な動・植物に親しみ、命の温もりや尊さを感じ、感動する心や大切にする心等、豊かな心情を育む。
- ・遊びや生活の中で相手の気持ちに気づき、互いに認めあい、自分も人も大切にする心を育てる等道徳性の芽生えを培う。

健やかなからだづくりのために

- ・様々な遊びの中で、興味・関心・能力に応じて、全身を使って活動することにより、思い切りからだを動かす爽快感を感じ、自ら体を動かしたくなる意欲を育てる。
- ・家庭や地域と連携を取りながら、基本的な生活習慣の定着を図り、自信をもって自立に向かうようにする。

幼稚園教育目標

たくましく心豊かな子どもの育成
～自律心をもち、自分で考え、自分で行動する
心豊かな児童の育成を目指して～

目指す子ども像

明るく素直で思いやりのある子ども
自分で考え、行動する子ども
いきいきと遊び、創造性豊かな子ども
しなやかで粘り強く、最後までやり遂げようとする子ども

保護者・地域の願い

未就園児教育相談の充実
保護者同士のつながりの充実
子育て情報の発信
「ほつとちやっと」での保護者交流
預かり保育の充実

特色ある園づくり

地域とつながり、伝統文化に親しむ幼稚園
保幼小連携の推進
(保育の質と子どもの連続した育ち)

内外に開かれた幼稚園

- ・学校評価システムの活用
- ・幼稚園だより・もえぎっこ・ホームページの活用による幼稚園教育の発信の充実
- ・運営協議会(もえぎティンクル)による幼稚園教育への参画の充実
- ・パパ・ママティーチャーとしての保育参加による幼稚園教育の理解推進

園内研究

「児童が自己を発揮しながら人と折り合いをつけ、気持ちを調整する力が育つための教師の援助や環境のあり方を考える」
～自立心、自律性が育つようにするための教育課程の編成を通して～

学年の重点

- 3歳児：安心できる生活や教師との信頼関係を基盤に、自分なりの思いを出して遊び、その子らしさを発揮していく基盤を培う。
- 4歳児：一人一人が自分の思いを出し、気の合う友達と遊び、自己肯定感を育む。
- 5歳児：友達とのかかわりを深め一緒に遊ぶことを通して、一人一人が自分のもつている力を發揮し、人への信頼感や思いやりの気持ち、考えて行動しようとする態度を培う。

一人一人の良さ・可能性を生かす学級・学年経営

人権尊重を基盤にした幼稚園経営

家庭・地域との連携